

医会 Pick Up 

「こどもの目の日」記念イベント in 群馬

日本眼科医会 理事 宮本 智

2025年10月19日(日), 群馬県庁31階のGINGHAM(ギンガム)で「こどもの目の日」のイベントが開催されました。群馬県庁はニューイヤー駅伝のスタート・フィニッシュ地点として有名で県内で一番高い建物です。展望ホールからは前橋市街地や赤城山が一望できます。

「こどもの目の日」は子ども達の視力の成長を見守り, 目の健康を推進するために2023年に日本眼科啓発会議が制定した記念日です。「はぐくもう6

歳で視力1.0」という願いを込めて, 6月10日が記念日となりました。全国各地で関連イベントが始まってきていますが, 今回は日本眼科医会が主催, 群馬県眼科医会が後援する形で, この形では3月の東京都立川市でのイベントに続き二回目となりました。

会場のGINGHAMは, 中央に丘を模した人工芝の広場があり, その両側にスクリーンエリアとキッチンエリアがあります。子ども達が飽きないように, 各エリアを移動しながらイベントを体験できる



シアターエリアで近視マンに興味津々



キッチンエリアで近藤先生のお話に集中



ランドルト環を作ってみよう



視力検査体験に少し緊張

ツアー形式で行いました。参加者は園児から小学校低学年の児童と保護者で、予約制・完全入れ替え制で4回のツアーを開催しました。

参加者は、まずシアターエリアで司会者、白根雅子会長、群馬県眼科医会 馬場敏生会長のあいさつの後、近視マンの動画を視聴し、「眼科の先生を探そう」という掛け声のもと、近藤永子常任理事、群馬県眼科医会 板倉麻理子先生が待つキッチンエリアへ移動し、近視や弱視についてのお話を聴いて「3つのおやくそく」

- ① タブレットの画面に目を近づけない（画面から30cm離れる）
- ② 画面を見続けず（30分見たら30秒遠くをみる）
- ③ いっぱい外で遊ぶ

を確認して、おさらいクイズ、ランドルト環工作、視力検査体験を行いました。

最後に広場に移動して「アイのうた」をみんなで歌い、子ども達には「こどもの目の日」の缶バッジや「ぐんまちゃんとめめぺんの特製コラボステッカー」を配付しました。また、保護者には、終了後にアンケートをお答えいただき、本イベントの協賛企業であるロクシタンからハンドクリームのプレゼントをお渡しし、ツアーは終了となりました。

「こどもの目の日」はまだ新しい記念日なので国民の皆様によく知られているとは言えません。本イベントのGINGHAMは、設備やロケーションが子ども向けイベントを行うには最高の場所だったので大成功に終わりました。各県眼科医会の皆様に、どのような形でもいいので関連イベントを開催していただくことで、直接子どもやその保護者にメッセージを届けることができます。6月10日が「こどもの目の日」と広く認知されることを願っています。



みんなで歌おう「アイのうた」



頑張った子にご褒美



ぐんまちゃんとめめぺんの特製コラボステッカー



群馬だヨ！全員集合